（２２）　ラナンキュラス

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除		
		防除時期	RACコード	薬剤
1 うどんこ病 *Erysiphe aquilegiae* var. *ranunculi*	1.密植を避け、過繁茂にならないようにする。 2.窒素質肥料の過多は本病の発病を助長する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.サンヨールはアブラムシ類、ハダニ類にも登録がある。 2.サンクリスタル乳剤は、ハダニ類にも登録がある。	発生初期 (感染初期から)	－ －	サンヨール サンクリスタル乳剤
2 菌核病 *Sclerotinia sclerotiorum*	1.換気をよくし、過湿にならないようにする。 2.病株は早めに抜き取り、ハウス害に持ち出して処分する。	発病前	1	トップジンＭ水和剤
3 灰色かび病 *Botrytis cinerea*	1.換気をよくし、過湿にならないようにする。 2.病株は早めに抜き取り、ハウス害に持ち出して処分する。 3.生育初期に過繁茂となるような施肥や潅水は開花期に発病を助長しやすい。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.サンヨールはアブラムシ類、ハダニ類にも登録がある。	発病前	7 9 19 － BM2 10･1 M7･19	アフェットフロアブル フルピカフロアブル ポリオキシンＡＬ水溶剤 サンヨール （生）ボトキラー水和剤 （混）ゲッター水和剤 （混）ポリベリン水和剤
4 立枯病 (リゾクトニア菌)	1.排水を図り、被害株は早めに処分する。 2.本病を対象にユニフォーム粒剤で防除を実施しているところでは、株枯病及び根腐病の発生が少ない。	発生初期	11･4	ユニフォーム粒剤
5 腐敗病 *Pseudomonas marginalis* pv. *marginalis*	1.多かん水を控え、過湿にならないようにする。 2.冬季の温度管理に注意する。	発病前	31･24	（混）カセット水和剤
6 アブラムシ類	1.無病苗を導入する。 2.シルバーマルチ、シルバーストライプマルチ、シルバーテープを使用する。 3.ハウスの開口部に防虫ネット（１㎜目合以下）をはり、成虫の飛来を防止する。	発生初期	1B 4A 4A 4A	オルトラン水和剤 ダントツ粒剤 ダントツ水溶剤 モスピラン顆粒水溶剤
7 アザミウマ類	1.ハウス開口部に防虫ネット（1㎜目合以下）をはり、成虫の飛来を軽減する。 2.侵入防止対策のとれているハウスでは、青色粘着トラップを吊るすことにより、密度を下げることができる。 3.ハウス内及び周辺の雑草処理を徹底する。 4.被害植物や雑草は、除去後に土中に埋没するか、ビニール等で密封し、半月程度放置する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.低密度時の散布を心がける。 2.ファインセーブフロアブル、アベンジャーフロアブルはヒラズハナアザミウマに対しては効果が劣るので注意する。	発生初期	34 34	ファインセーブフロアブル アベンジャーフロアブル
8 オオタバコガ	1.卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。 2.ハウス開口部を防虫ネット(４㎜目合以下）で被覆すれば、飛来、産卵を防止できる。	発生初期	5 6	ディアナＳＣ アファーム乳剤

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する